

オロロンライン
トライアスロン

村上(札幌)
8連覇

男子 スチュアート(長崎)連覇

国内最長のトライアスロン最大の優勝を飾った。大会は増毛町の増尾港海オロロンライン国際大会兼第7回道選手権(奥管内9市町村を統轄)行委、北海道新聞社、道庁延町で折り返し、遠別新スポットなど主権は町までのバイク200・29日、留萌管内9市町村で開かれ、男子はスミス・スチュアート(長崎)が8時間59分7秒8で2年連続3度目、女子は村上純子(札幌)が10時間12分3秒9で8年連続9

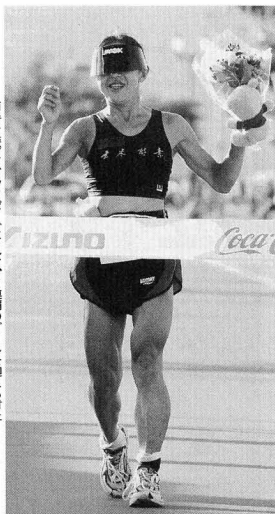
度目の優勝を飾った。大会は増毛町の増尾港内でのスィム200の後、奥管内9市町村を統轄し、道庁延町で折り返し、遠別新スポットなど主権は町までのバイク200・29日、留萌管内9市町村で開かれ、男子はスミス・スチュアート(長崎)が8時間59分7秒8で2年連続3度目、女子は村上純子(札幌)が10時間12分3秒9で8年連続9

一般の部に302人(女子35人)と、3人1組のリレーの部に14チームで争った。

44人が出場した。道選手権は男子が江口宏幸(札幌)が9時間48分16秒4で優勝し、女子は村上純子(札幌)が10時間12分3秒9で優勝した。

分25秒9で制した。昨年を約3分上回る自己ベストで連覇を飾った王者スチュアート(米田出身)だが「権」の二文字が頭をよぎるほど、初めて弱気になったという。

「今年ほつきつりしえはなかった」といふ難産の笑顔だ。昨年を約3分上回る自己ベストで連覇を飾った王者スチュアート(米田出身)だが「権」の二文字が頭をよぎるほど、初めて弱気になったという。



両手を挙げてガッツポーズを見せ、8連覇のゴールを迎える村上

不惑の女王 貫録レース 村上

独走で、女子8連覇を達成した村上はゴール直前、疲労の極度に達し、肩を大きく揺らしながらテープを切った。

「最後まで満足に走れなかったのは久しぶり」と快挙にもうなだれるランで女子2位の佐藤浩巳(茨城、札幌出身)に一時は8分差に迫られ「追い抜かれても仕方がない状態だった」といふ。それでも、最後には貫録の勝利。今年40歳を迎えたオロロンの女王は、いねえアタマを浮かべた。

- 反動がランで出た。練習不足も響き、坂道が連続する最後の20分は走ろうと思っても前に進まない。だが「5分を4回走れば大丈夫」と自分に言い聞かせ、重い足を動かした。
- 「今年ほつきつりしえはなかった」といふ難産の笑顔だ。昨年を約3分上回る自己ベストで連覇を飾った王者スチュアート(米田出身)だが「権」の二文字が頭をよぎるほど、初めて弱気になったという。
- 9時間59分6秒2⑥松正昭(東区)10時間0分5秒0⑦伊藤吉昭(札幌)10時間5分51秒3⑧小川英宏(札幌)10時間7分32秒5⑨中川道(江別)10時間12分55秒8⑩石橋英(札幌)10時間15分57秒8
- ①女子 ①村上純子(札幌)10時間12分3秒9②イム32分43秒3③パイク5④成瀬天希(旭川)10時間43分5秒5⑤佐藤浩巳(茨城)10時間37分5秒0⑥加藤幸(帯広)11時間18分38秒0⑦山田真由恵(札幌)11時間21分31秒8⑧成瀬天希(旭川)11時間22分2秒2⑨平井小夜子(札幌)11時間41分8秒2
- ①(鶴田)11時間32分57秒7②夏井ゆかり(野付)11時間38分44秒8③野村恭子(札幌)11時間41分13秒7④沼田京子(旭川)11時間47分59秒5⑤樋口穂子(札幌)12時間0分47秒5
- ①リレー ①TOP F JAPANへっぴこ(稚内)古川香織(旭川)②内藤真智子(10時間57分25秒9)③HANZO(旭川)11時間17分27秒0④沼田アスリート(札幌)11時間21分31秒8⑤4・7⑥スィム2⑦パイク2⑧9⑨⑩